

# ミカン生育情報

千葉県  
平成 25 年 11 月号

## 平成 25 年 10 月の気象

平均気温は、平年に比べ第 1 半旬で 0.5℃、第 2 半旬で 4.7℃、第 3 半旬で 1.8℃、第 5 半旬で 1.2℃高く、第 4 半旬と第 6 半旬はそれぞれ 0.8℃、0.9℃低かった（表 1）。月平均気温は、19.0℃で平年の 17.9℃より 1.1℃高かった。

降水量は、平年より第 1、第 2、第 5 半旬で少なく、他の 3 半旬は多かった。月合計は、455mm となり、平年の約 1.8 倍であった。これは 2 つの台風の影響であり、15～16 日にかけて関東地方に接近した台風 26 号による 24 時間降水量 321.5 mm（気象庁）は、10 月の観測史上最大であった。また 26 日にも南の沖合を台風 27 号が通過した。

日照時間は、平年に比べ、第 1、第 4、第 5 半旬で少なく、他の半旬で上回った。月合計は、130 時間で平年より 7 時間（5%）少なかった。

表 1 平成 25 年 10 月の気象（暖地園芸研究所）

半旬	平均気温 °C		降水量 mm		日照時間 hr	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
1	21.0	20.5	27	43	10	20
2	23.4	18.7	2	75	36	20
3	20.5	18.7	131	31	34	21
4	16.9	17.7	215	37	15	22
5	17.7	16.5	20	29	3	24
6	15.1	16.0	62	37	33	29
平均/合計	19.0	17.9	455	253	130	137

## 早生温州の果実品質

着色程度は 3 調査地とも平年より低く、着色はわずかに遅れている（表 2）。糖度は平年より三芳地区と千倉地区ではやや低く、暖地園研では高く、平均は 9.3%でほぼ平年並みである。酸度はいずれの園地も平年より低く、平均 0.81%と平年より 0.32%低かった。甘味比はいずれも平年より高く、平均 12.3 で平年より 3.7 高かった。果肉歩合もいずれも平年より高く、平均 84.5%で平年より 3.3%高かった。

なお、浮皮は、いずれの園地も発生していない。

表 2 早生温州の果実品質（平成 25 年 11 月 1 日）

調査地	着色程度		糖 度%		酸 度%		甘味比		果肉歩合%	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
三芳地区	7.2	7.1	8.9	9.4	0.61	1.07	14.6	9.2	84.0	79.9
千倉地区	7.8	7.9	9.6	9.8	1.02	1.22	9.4	8.1	83.8	81.4
暖地園研	6.8	7.4	9.3	9.0	0.81	1.10	12.9	8.5	85.6	82.2
平均	7.3	7.5	9.3	9.4	0.81	1.13	12.3	8.6	84.5	81.2

平年値は平成 5～24 年の平均値。 甘味比＝糖度／酸度。

## 果実の生育

10 月末～11 月初めの果実の生育を 3 調査地の平均値で見ると（表 3）、横径、縦径の  
平年比は、早生温州ではそれぞれ 100%、96%、普通温州では、それぞれ 102%、98%でい  
ずれも縦径が平年をやや下回っている。

川野夏柑では、それぞれ 104%、105%であり、平年を上回っている。

表 3 果実の生育（平成 25 年 10 月 30 日、同 11 月 1 日）

品種	調査地	横径 (cm)	縦径 (cm)
興津早生	三芳地区	6.3 (96)	4.7 (92)
	千倉地区	6.4 (101)	4.7 (94)
	暖地園研	6.8 (102)	5.2 (102)
大津 4 号	三芳地区	7.4 (106)	5.1 (102)
	千倉地区	7.4 (102)	4.7 (96)
	暖地園研	7.2 (98)	5.0 (98)
青島温州	三芳地区	7.4 (105)	5.3 (104)
	千倉地区	7.2 (101)	4.8 (94)
	暖地園研	7.0 (98)	4.9 (97)
川野夏柑	暖地園研	9.2 (104)	7.5 (105)
早生温州 (平均値) *		6.5 (100)	4.9 (96)
普通温州 (平均値)		6.9 (102)	5.0 (98)

( ) の数字は平年値（平成 6～24 年の平均）を 100 とした比数

\* 早生温州：興津早生 3 調査地の平均

普通温州：大津 4 号、青島温州 3 調査地の平均

## 11～12 月の栽培管理

**普通温州の収穫・予措** 品質をそろえるため、着色に合わせて収穫する。浮皮は着色後  
に発生するため、8 分着色以上の果実を先に行い、分割採取とする。

収穫の際は、果梗枝はへたぎりぎりの所で切るが、へたに傷を付けないよう気を付ける。  
その後の運搬・選果時にも果実に傷がつかないように丁寧に扱う。

収穫した果実は、腐敗防止のため、風通しの良いところへ置き、2～3%減量させる。

**病虫害の防除** ミカンハダニやカイガラムシが多い園では、収穫後マシン油乳剤による  
防除を行う。樹勢の弱い樹や寒害を受けやすい園地では、寒い時期の散布を避ける。また、  
乾燥が続いている場合は、降雨後に散布を行うと樹勢への影響が小さい。

防除を行う際は、千葉県農作物病虫害雑草防除指針を参考に行う。

### 《 生育情報の問合せ先 》

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 果樹・環境研究室 電話 0470-22-2961  
果樹の生育情報は千葉県ホームページ「農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。  
<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>